

観光経済常任委員会

Q：奥入瀬溪流や十和田湖はトイレが少ないし、場所がわかりにくいので対策を！

A：市の説明では、自然公園法の特別保護地区なのでトイレの増設や案内板の設置は難しいとのことでした。委員会では、将来的に青樫山バイパス（溪流を迂回する道路）が完成すれば、今よりも歩行者や自転車の利用が増えることが見込まれるので、自然との共生を目指し、景観に合わせた整備を粘り強く働きかけていくべきと意見を集約しました。

Q：焼山地区の活性化について、さまざまな意見を聞いてほしい！

A：市の説明では、「奥入瀬焼山活性化基本計画」を策定中で、市民の意見を取り入れるために意見交換会やパブリックコメント（意見公募）を実施し、自然をもっと生かす形での計画策定を望む声もあったとのことでした。委員会では、観光資源を生かした形でのにぎわい創出が図られるような計画を策定してほしいと意見を集約しました。

民生福祉常任委員会

Q：高清水の交差点に信号を設置してほしい！

A：市の説明では、平成25年10月24日に県道路課、上北県民局地域整備部、県警交通規制課、十和田市（土木課・まちづくり支援課）とで協議したところ、県からは、県道三沢十和田線と交差する市道の道路改良時において信号機の設置が優先的に検討されるものとの見解が示されています。また、現在県では、当該道路改良事業の着工計画を進めており、市も県の動向を見ながら道路改良についての計画をあわせて検討するとのことでした。

Q：集団検診の受診率をもっと上げる努力をするべきでは！

A：市の説明では、平成24年度は受診率65%を目標にしていたのですが、結果は31%とのことでした。受診率を高めるため、さまざまな機会を通じ、勧奨していくとのことでした。

建設常任委員会

Q：上北インターチェンジ（東北町）から十和田市までの高規格道路をつくってほしい！

A：市の説明では、当市は高速交通道路網から取り残されているため、東北自動車道八戸線の八戸駅付近から当市を經由し、東北自動車道小坂ジャンクションまでのルートについて、地域高規格道路の指定を要望しているとのことでした。

また、委員会では、既存の道路を改良整備する必要性の有無について、市庁舎から上北インターチェンジまでの道路状況の調査も行いました。調査は市庁舎から県道三沢十和田線を通り、高清水交差点を北上し、一般農道を経由し県道211号にて上北インターチェンジに接続するルートで行いました。このルートは十和田市、六戸町、東北町を經由しますが、現在の道路でも十分利用可能な上、十和田市部分である市道高清水・大下内線では改良工事も行われていることから、現時点では整備の緊急性が認められないとの結論に達しました。以上のことから、高規格道路の整備については関係機関への働きかけを続ける必要があるが、上北インターチェンジまでの既存の道路の改良整備については緊急性が認められないとの結論に達しました。